

算数ノートの書き方見本

〈書くときのやくそく〉

- ていねいな字で、だれが見ても読める字で書く。
- じょうぎで線をひく。
- ノートは、どんどん書きこみたくさん使おう。
- ^{あた}新しい^{もんだい}問題に取り組むときは新しいページに書く。


ふきだしは、先生からのコメントです。
みんなは書くひょうがありません。



5/18 P.2 ①目づけとパージを書く。

< もんだい > ②□のみどりもんだいを書く。

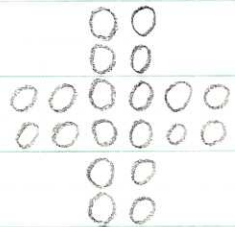
○は全部で何こありますか。くふうしてもとめましょう。

③  このマーフのめあてを書く。

じょうぎを使って、線をひきます。

④どのようにすれば、かけ算が使えるか考えよう。

< 自分の考え > ④考えを思いつくかぎり書く。
いくつ書いてもいいよ。

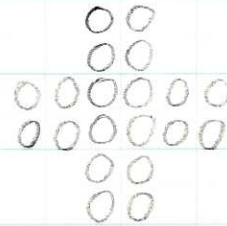


図や表は、自分で書こう。

ノートの書き方見本① 教科書P4、P5、P18、P19
書き方の見本があります。

< ほかの考え >

⑤教科書を読み、自分の考えに
なか、た考えを書く。
全部書けていたら、一番使い
やすい考えを書こう。



< 学習のかんそう >

⑥分かったこと、気づいたこと、
つきに考えてみたいこと
できるように、たことなど
を、自分のことばで書く。

< まとめ > ⑦教科書のまとめを書く。

○の数は、同じ数のまとまりを
つくれば、かけ算を使って
もとめることができる。

5/19 P.9

新しいもんだいに入るときは、
新しいイメージを使おう。

< もんだい >

7×4の答えの見つけ方を考え
ましょう。

④九九の答えの見つけ方を考えよ
う。

< 自分の考え >

ノートの見本②

< ほかの考え >

< 学習のかんそう >

< まとめ >

①

△のもんだいがあるときは、△のもんだいをとこう。
お家の人にも見てもらおう！○のときもあるよ。

②

5/P.20

< もんだい >

下の表は、まりさんの記ろくを
 点数ごとにせい理したものです。
 まりさんのとく点のとり方を式に
 表して、とく点をもとめましょう。


点数(点)	パーで勝ち	おキで勝ち	グで勝ち	負け	合計
	3	2	1	0	
回数(回)	0	4	2	4	10
とく点(点)					

①など、0のもんだいが出てくることもあるよ!

とく点が計算でき
たら書きこもう。

① 2点... $2 \times =$

1点... $1 \times =$

めあてが  とは、ちがいます。

② 3点と0点のところのとく点の
とり方を式に表せるか考えよう。

< 自分の考え >

ノートの見本 ③

P.20は〈ほりの考え〉がた
ので、書かなくていいです。

< 学習のかんそう >

< まとめ >

③ < けんさんのとく点 >

3点... $3 \times 2 =$

2点

1点

0点

④

とちやうで書けなくなたら、
フキのページに書きこもう。

⑤